アレクセイ・ヴォロディン（ピアノ）

Alexei Volodin, Piano

　1977年レニングラード生まれ。モスクワ音楽院でヴィルサラーゼに師事し、2003年にはチューリヒのゲザ・アンダ国際コンクールで優勝。以後、アシュケナージ、ビシュコフ、ナガノ、ロフェ、井上道義らの指揮で、ロンドン響、BBC響、スイス・ロマンﾄﾞ管、モントリオール響、N響などに客演している。

　リサイタルでは、ウィーン・コンツェルトハウスやフィルハーモニー・ド・パリ、チューリヒのトーンハレなどに定期的に登場。室内楽では、ヤンセン、マイスキー、ボロディン弦楽四重奏団などと共演している。

　桁外れに多様なレパートリーを有し、ベートーヴェン、ブラームスからチャイコフスキー、ラフマニノフ、プロコフィエフ、さらにガーシュウィンからシチェドリン、メトネルまで自在に弾きこなす。

　録音も多く、ラフマニノフ、シューマン、ラヴェル、スクリャービンのソロ作品集などをリリース。なかでも、ショパンのディスクは、ショク賞やディアパゾン誌の５つ星を獲得した。

　スタインウェイの専属アーティスト。